

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎物流施設PJ新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県尼崎市潮江五丁目103番14、	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,744 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年7月26日
敷地面積	5,354 m <sup>2</sup>	作成者	寺川幸子
建築面積	2,808 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月26日
延床面積	11,035 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 高い外皮性能を確保し、省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。 資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に配慮した。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★かつVOC放散量の少ない建材を全面的に採用し、健全な空気環境づくりに努めた。	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、将来用途変更可能性へ配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 中高木・低木・地被植物等により敷地内緑化に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性の高い材の採用と高効率設備の導入により、環境負荷低減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 消費エネルギー量削減により運用時のLCCO <sub>2</sub> 排出量低減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される